



平成 29 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ミズホメディー
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成
(コード番号：4595 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛
(電話番号：0942-85-0303)

固定資産（新工場等建設用地）の取得及び 上場調達資金使途の一部変更に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 12 日付「有価証券届出書」、平成 27 年 11 月 26 日付及び平成 27 年 12 月 7 日付「有価証券届出書の訂正届出書」、平成 27 年 12 月 22 日付「第三者割当増資の結果に関するお知らせ」並びに平成 28 年 11 月 10 日付「上場調達資金の支出予定時期の変更に関するお知らせ」において「新規発行による手取金の使途」（以下、「資金使途」という。）について公表しておりましたが、本日開催の取締役会において、下記のとおり、設備の新設計画の変更並びに、これに伴う固定資産（新工場等建設用地）の取得及び資金使途の一部変更について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取得の経緯及び変更の理由

当社は、体外診断用医薬品分野における新たな診断技術として、遺伝子検査システムの研究開発に取り組んでおり、目下、厚生労働省へ呼吸器感染症遺伝子検査薬の製造販売承認を申請中であり、当該検査システムの検査キットについては、現工場生産を開始したのち、本社敷地内に建設する専用の新規製造工場において大量生産に移行する予定でありました。また、新規上場時の調達資金につきましても、当該検査システムの生産設備及び新規製造工場に充当する予定でありました。

一方、近年、感染症迅速診断システムの専用機器（クイックチェイサー Immuno Reader 等）を用いる検査キット「クイックチェイサー Auto シリーズ（富士フイルム株式会社向け製品を含む）」の売上の増加が著しく、今後もさらなる需要拡大が見込まれているため、本社工場の生産能力の増強が喫緊の課題となっております。

このような状況のなか、遺伝子検査キットの新規製造工場の建設とクイックチェイサー Auto シリーズ増産のための生産能力の増強の両方に対応するためには、本社敷地の利用可能面積では充分ではないとの結論にいたりました。

これを解消し、新製品である遺伝子検査キット及び既存の主力製品であるクイックチェイサー Auto シリーズの安定した供給を目指すべく、中長期的な製品需給状況や設備投資の効率も考慮し、本社敷地内ではなく、より広い用地を取得の上、両検査キット用の新規製造工場を建設することとし、設備の新設計画を一部変更いたしました。また、遺伝子検査システムの評価、改良を含めた継続的な研究開発のため、建物内に研究施設を設け、工場・研究所として稼働予定であります。

当該計画にあたり、まずは新規製造工場・遺伝子研究所の建設用地を取得し、資金使途の内、未支出分をこれに充当することといたしました。

2. 取得資産（新工場等建設用地）の概要

(1) 所在地	福岡県久留米市藤光町 735 番 13
(2) 土地面積	10,010 m ² (3,028 坪)
(3) 取得価額	282,815 千円
(4) 資金計画	増資資金(上場調達資金)及び自己資金により充当

3. 相手先の概要

(1) 名称	久留米市土地開発公社	
(2) 所在地	福岡県久留米市中央町 37 番地 20	
(3) 代表者の役職・氏名	理事長 森 望	
(4) 事業内容	公共用地および公用地等の取得、管理および処分等	
(5) 資本金	7,000 千円 (平成 29 年 3 月 31 日現在)	
(6) 設立年月日	昭和 48 年 4 月 2 日	
(7) 純資産	215,482 千円 (平成 29 年 3 月 31 日現在)	
(8) 総資産	1,430,513 千円 (平成 29 年 3 月 31 日現在)	
(9) 当社と相手先の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 取得の日程

(1) 取締役会決議日	平成 29 年 12 月 22 日
(2) 立地協定締結日	平成 29 年 12 月 27 日 (予定)
(3) 契約締結日	平成 30 年 1 月 11 日 (予定)
(4) 物件引渡日	平成 30 年 1 月 17 日 (予定)

5. 資金使途の変更の内容

資金使途の変更の内容は以下のとおりであります。(変更箇所は下線を付しております。)

【変更前】

新株式発行等による手取概算額合計 265,796 千円については、全額を設備資金とし、現在開発中の遺伝子検査システムの生産設備の一部及び本社敷地内に建設予定の新規製造工場の建設費に充当する予定であります。

具体的には、生産設備（平成 28 年 12 月期～平成 31 年 12 月期 65,796 千円）及び新規製造工場（平成 30 年 12 月期 200,000 千円）に充当する予定であります。

なお、設備投資計画については以下のとおりであります。

[設備の新設計画]

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)				
本社 (佐賀県鳥栖市)	遺伝子検査システムの 生産設備	100,000	20,949	増資資金 及び借入金	平成28年 7月	平成31年 3月	— (注) 2
本社 (佐賀県鳥栖市)	遺伝子検査システムの 新規製造工場	200,000	—	増資資金	平成30年 4月	平成30年 12月	— (注) 2

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 完成後の増加能力につきましては、その測定が困難であるため、記載を省略しております。
 3. 既支払額につきましては、平成29年11月末現在の金額であります。

【変更後】

新株式発行等による手取概算額合計 265,796 千円については、全額を設備資金とし、現在開発中の遺伝子検査システム生産設備の一部に充当しており、遺伝子検査システム及び感染症迅速診断システムの新規製造工場・遺伝子研究所の建設用地に充当する予定であります。

具体的には、既に本社で使用している遺伝子検査システムの生産設備（平成28年12月期～平成29年12月期 20,949 千円）に充当しており、未支出分については、新規製造工場・遺伝子研究所の建設用地（平成30年12月期 244,847 千円）に充当する予定であります。

なお、設備投資計画については以下のとおりであります。

[設備の新設計画]

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)				
<u>ミズホメディール久留米工場・ 遺伝子研究所(仮)</u> (福岡県久留米市)	<u>遺伝子検査システム 及び感染症迅速診断 システムの新規製造 工場・遺伝子研究所</u>	1,500,000	—	増資資金、 自己資金 及び借入金	平成30年 1月	平成31年 2月	— (注) 2
<u>ミズホメディール久留米工場・ 遺伝子研究所(仮)</u> (福岡県久留米市)	<u>遺伝子検査システム 及び感染症迅速診断 システムの生産設備</u>	400,000	—	自己資金 及び借入金	平成31年 1月	平成31年 5月	— (注) 2

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 完成後の増加能力につきましては、その測定が困難であるため、記載を省略しております。

6. 今後の見通し

本件による平成29年12月期の業績に与える影響は軽微であり、平成29年2月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

なお、新工場等の建設の詳細等につきましては、当該設備の新設計画に進展があり次第、必要に応じてお知らせいたします。

以上